

たまり水、放置していませんか

蚊か？

これから夏本番、蚊の多くなる季節になります。蚊は人を刺すだけでなく、様々な感染症を媒介することが知られています。日頃から蚊の発生防止に努めることが重要です。

蚊の一生

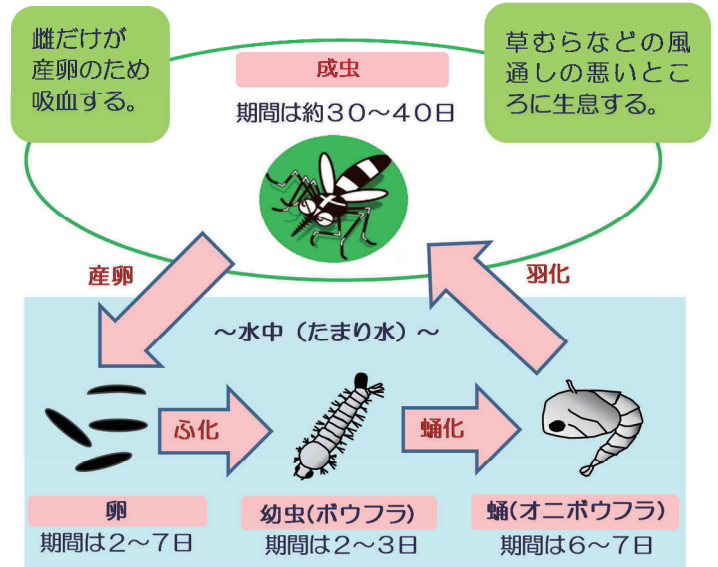
蚊は卵→幼虫（ボウフラ）→^{さなぎ}蛹（オニボウフラ）→成虫の順に成長する昆虫です。蚊のメスは吸血すると、水際や水面に卵を産み付けます。この吸血と産卵は、シーズン中に3～4回繰り返されます。夏季の好適条件下では、卵から約12日間で成虫になります。

蚊の発生を減らすためには、成虫対策よりも幼虫の発生源になる「たまり水」をなくし、幼虫を発生させない対策が効果的です。

幼虫の発生源になる「たまり水」の例

「たまり水」は以下のようなところにあります。蚊を発生させない環境を整え、快適な夏を過ごしましょう！

- 建物周辺
 - やぶ、草むら
 - 地面や木、岩のくぼみ
 - よどんだ池
 - 植木鉢の受け皿、水生植物の鉢
 - プラスチック等の廃棄物
 - 雨ざらしの用具・容器
- 建物内・屋上
 - 雨どいのつまり
 - 水没した埋設型散水栓
 - 排水溝、水飲み場の排水ます
 - 雑排水槽、湧水槽など



蚊の一生（ヒトスジシマカの場合）

出典「施設管理者向け蚊の発生防止対策」東京都福祉保健局より改変



デング熱などの感染症や蚊の発生防止対策に関することは最寄りの保健所へご相談ください。

詳しい情報は東京都福祉保健局のホームページをご覧ください。[東京都 蚊対策] [検索]

東京都

【東京都ポスター】

蚊対策について詳しく知りたい方は で

【この記事に関するお問合せ】生活環境安全課 環境衛生担当

「保健所ねっと」R1年度 第1号 P2

